

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和5年6月20日(火)

事務事業		高齢者福祉政策推進事業		担当課	長寿福祉課	担当係	長寿福祉係	管理番号	27111	
総合計画	大項目	1	健康でいきいきと暮らせるまち	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務					
	中項目	3	地域で支え合って生活できるまちづくり	根拠法令 個別計画等	深谷市高齢者保健福祉委員会設置条例					
	小項目	2	高齢者福祉の推進		深谷市高齢者福祉計画					
	主要プロジェクト				深谷市外国人高齢者福祉手当支給要綱					
事業概要		①高齢者福祉サービスの利用を促進するため、リーフレットを作成し、全戸配布することにより、各サービスに関する情報を広く市民のかたへ提供するものである。 ②高齢者保健福祉委員会を開催し、高齢者福祉計画の進捗管理・3年度ごとに計画の策定を行うものである。 ※令和5年度は物価高騰による高齢者支援として、65歳以上の高齢者に5,000円分の地域通貨ネギーを送付した。（地方創生臨時交付金）								
目的 ※何のために		①高齢者福祉に対する理解の向上を図り、各サービスの周知及び利用を促進する。 ②高齢者が住み慣れた地域で生き生きと暮らせるよう各種サービスの充実と環境の創出を推進する。								
対象 ※誰・何を対象に		①市民のかた ②65歳以上の高齢者								
手段 ※どのように		①リーフレットを作成し、全戸配布する。 ②高齢者保健福祉委員会を開催する。								
成果 ※何を求めるか		①高齢者福祉サービスに関する情報を提供する。 ②高齢者福祉計画の進捗管理・策定								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他（ ）								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額（円）		
		一般会計	3	民生費	4	老人福祉費	1	老人福祉総務費	老人福祉政策推進事務費	222,861,763
本事業の 主な業務		・ 高齢者福祉計画の進捗管理					・			
		・ リーフレットの作成、配布					・			
		・ 外国人高齢者福祉手当対象者の把握・交付					・			
		・					・			
		・					・			
		・					・			

2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画		高齢者福祉計画の進捗管理	高齢者福祉計画の進捗管理・策定業務	高齢者福祉計画の進捗管理			
事業費	予算（現額）	230,704,000	240,043,000	1,749,000	2,747,000		
	決算額	210,245,612	222,861,763	0	0		
	財源内訳	国支出金	174,454,000	0	0		
		県支出金	0	0	0		
		地方債	0	0	0		
		他特定財源	0	0	0		
		一般財源	1,242,612	48,407,763	1,749,000	2,747,000	
人件費	従事職員数（人）	1.10	0.95	1.05	1.05		
	人件費相当試算※	8,656,513.00	7,609,657.00	8,778,945.00	8,778,945.00		
総事業費試算		218,902,125	230,471,420	10,527,945	11,525,945		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名	目標値 実績値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
活動指標 1	リーフレット配布世帯数	目標値	世帯	48,000.00	48,000.00				
		実績値		48,000.00	48,000.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		平成24年度より、各年度の市広報配布世帯数を目標値として設定する。 / 広報折込数						
	実績値の算出式								
活動指標 2	高齢者福祉委員会開催回数	目標値	回	1.00	4.00	1.00	1.00	4.00	1.00
		実績値		1.00	4.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	リーフレットをより分かりやすい表現や表記に修正し、広報ふかや7月号に折り込み、全戸配布することで市民に対し各種事業の情報を提供することができた。市民に分かりやすく情報を提供し、かつ地域包括支援センター、社会福祉協議会、介護保険サービス事業者等と連携し事業の推進を図っている。また、令和5年度は高齢者福祉計画(R6～8)の策定業務があり、高齢者保健福祉委員会を4回開催し計画策定業務及び進捗管理を実施した。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	配布方法を広報ふかや7月号に折込としたことで、効率的に全戸に配布することができた。また、高齢者の相談窓口の各地区地域包括支援センターからも配布し、必要な情報を提供できた。
			評価者 長寿福祉係長 山村恵美子

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	リーフレットをより分かりやすい表現や表記に修正し、広報ふかや7月号に折り込むことで、市内の多くの世帯に配布でき、各種事業の情報を提供することができた。また、地域包括支援センター6事業所、社会福祉協議会、介護保険サービス事業者等と連携し各事業の周知及び推進を図っている。なお、高齢者保健福祉委員会を4回開催し計画策定業務及び進捗管理を実施した。
			評価者 長寿福祉係長 山村恵美子

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和4年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	
達成状況及び その効果	

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	高齢者福祉政策推進事業	担当課	長寿福祉課	担当係	長寿福祉係	管理番号	27111
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		評価の内容説明					
		リーフレットをより分かりやすい表現や表記に修正し、今年度も全戸配布することで市民に対し各種事業の情報を提供することができた。今後も市民に分かりやすく情報を提供し、かつ地域包括支援センター、社会福祉協議会、介護保険サービス事業者等と連携し事業の推進が図れた。また、高齢者保健福祉委員会を4回開催し計画策定業務及び進捗管理を実施した。					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	長寿福祉課長 村岡圭吾				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和6年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	
令和7年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	

8. 評価指標グラフ

区分	活動指標 1	指標名	リーフレット配布世帯数
■ 目標値 ■ 実績値			
区分	活動指標 2	指標名	高齢者福祉委員会開催回数
■ 目標値 ■ 実績値			